

いもち病（葉いもち）情報第3号

平成21年7月15日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除グループ

1 葉いもち感染好適条件の出現状況

7月に入って県内各地で、感染好適条件（印）が出現しました（表3）。6月下旬には、本田で葉いもちの初発を確認しました（平年並）。7月上旬は、感染好適日の出現が多かったため、今後、注意が必要です。

2 発生状況

7月上旬の巡回調査では、発病ほ場率 12.8%（前年 3.8%、平年17.8%）、発病株率1.7%（前年0.3%、平年 2.2%）とほぼ平年並の発生状況ですが、平坦部において発病株率が高いほ場もあるので、今一度、発生状況を確認してください。

3 今後の見込み

週間天気予報（7月15日～21日）によれば、向こう一週間は、気圧の谷や梅雨前線の影響で曇天が多く、期間の前半は雨が降りますが、後半は晴れ間の広がる日もある見込みです。降水量は平年並の見込みです。

7月上旬までの葉いもちの発生量は平年並でしたが、感染好適条件が続くと、穂いもちが発生する可能性が高くなるので、常発地等穂いもちが心配される地域では、防除（表1、2）を行いましょう。

なお、今後、気温が平年並に推移した場合は、コシヒカリ（早期栽培）では出穂期が平年並と予想されています。ほ場ごとの生育状況に留意し、使用基準を遵守して、防除を行いましょう。

表1 穂いもちの主な防除薬剤（粒剤）と使用基準

薬剤名	使用時期	使用回数
コラトップ粒剤5 コラトップジャンボ } フジトップ粒剤	出穂30日～5日前 但し収穫30日前まで	2回以内 1回
嵐粒剤	出穂25日～5日前 但し収穫21日前まで	1回
キタジンP粒剤	出穂20日～7日前	2回以内

表2 いもち病の主な防除薬剤と使用基準

薬剤名	使用時期	使用回数
ブラシフロアブル	収穫21日前	2回以内
カスラブサイドゾル	収穫14日前	5回以内（穂ばらみ期以降4回以内）
ラブサイドフロアブル	収穫7日前	6回以内（穂ばらみ期以降4回以内）
ビームゾル	収穫7日前	3回以内

表 B L A S T A Mによる葉いもち感染好適日の推定結果
6月1日～7月14日

日付	尾張				西三河		東三河			中山間		備考
	愛西	南知多	東海	名古屋	豊田	岡崎	蒲郡	伊良湖	豊橋	新城	稲武	
6/10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/11	1	2	3	-	4	-	2	-	2	3	8	
6/12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/16	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
6/17	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	2	
6/18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/21	3	-	9	4	-	-	1	-	-	3	3	
6/22	2	2	2	2	-	-	-	1	2	-	2	
6/23	4	-	8	-	7	-	-	4	-	-	8	
6/24	3	3	3	2	2	3	3	2	3	4	3	
6/25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/28	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	
6/29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/30	-	1	2	1	2	3	2	-	1	2	4	
7/01	-	3	-	5	-	-	-	-	-	-	-	
7/02	3	-	-	-	-	-	-	1	1	5	-	
7/03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/04	-	-	-	-	3	-	-	7	-	-	-	
7/05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/06	3	-	8	7	-	-	2	9	-	2	9	
7/07	-	4	4	3	4	8	3	6	6	8	7	
7/08	-	7	-	-	-	7	-	-	-	9	-	
7/09	-	6	7	8	6	6	6	5	3	8	9	
7/10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

- ：好適条件(湿潤時間が長く気温も適当で、いもち病発生の好適条件が現れた)
 - ：準好適条件(湿潤時間は10時間以上であるが、湿潤時間中の平均気温が比較的低く、その平均気温に必要な湿潤時間より短い)
 - ：準好適条件(湿潤時間は10時間以上であるが、湿潤時間中の平均気温が15～25の範囲外)
 - ：準好適条件(湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温が25以上)
 - ：準好適条件(湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温が20未満)
- 数値：湿潤時間が10時間未満である湿潤時間数
- ：好適条件なし(いもち病発生の好適条件が現れなかった)